

南知多町 師崎地区 振興基本計画

発行・編集 ●南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ●平成 25 年 3 月



師崎地区の将来像
海と歴史に生まれ
若い世代も安心して暮らせるまち

計画の趣旨 この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過 地区住民会議を3回開催しました。
第1回 平成 24 年 11 月 20 日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成 24 年 12 月 13 日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成 25 年 1 月 31 日『地域の振興計画案の仕上げ』

師崎地区の概況

① 地区の概況

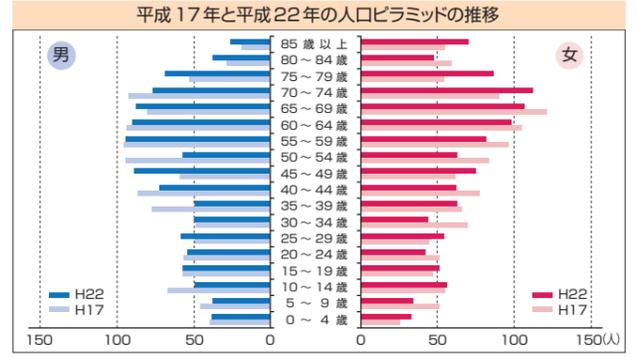
- ・師崎地区には師崎港があり、篠島や日間賀島、伊良湖岬を結ぶ航路として高速艇やフェリーが運行される海の玄関口となっています。
- ・師崎港の朝市では、水揚げされたばかりの魚介や地元の特産物が販売されています。また、地区には昔から伝わる漁師料理「崎っぽ料理」があります。
- ・地区内には国指定の天然記念物「羽豆神社の社叢」があります。また、羽豆神社へ続く『ロマンスロード』と呼ばれている遊歩道もあります。
- ・地区には左義長まつりや大名行列、盆踊りなどの伝統行事が残っており、保存継承に取り組んでいます。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）				出生数の推移					
総人口	2,288人	0～14歳	250人	高齢化率	31.7%				
男性	1,105人	15～64歳	1,312人	世帯数	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
女性	1,183人	65歳以上	724人	平均世帯人員	14人	18人	7人	16人	10人
		年齢不詳	2人						

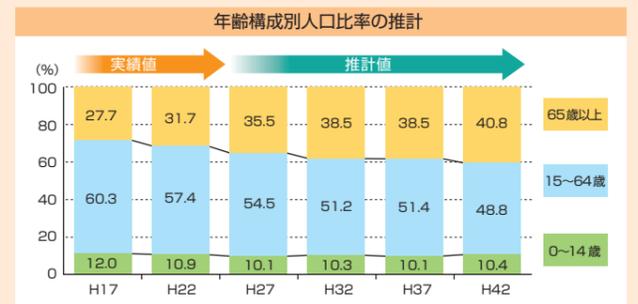
② 地区の人口

- ・地区の人口は1,699人、世帯数は651世帯で、町全体の人口の8.3%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が175人、「15～64歳」が941人、「65歳以上」が581人で、65歳以上高齢化率は34.2%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりもかなり高齢化が進展しています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「65～69歳」と「45～49歳」が、女性では「70～74歳」が多くなっており、少子高齢化が進行しています。
（※師崎地区の人口、世帯数等には住民基本台帳による新師崎地区の人口、世帯数を含んでいます。）



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には2,097人、平成42年には1,868人となること推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には38.5%、平成42年には40.8%になることが推計されています。



師崎地区の主要課題

課題① 地場産業の再生

師崎漁港の朝市など、新たなにぎわいづくりが進む一方で、後継者や担い手不足、地域資源の未活用などにより、漁業や商業、観光などの産業の活力が低下しています。老朽化が進む漁業関連施設等の更新や新たな施設整備などの環境整備を進め、漁業や水産加工業の活力を維持・発展させることが課題となっています。交流人口を拡大するために、駐車場の整備やまち並み、自然環境の保全などを図り、観光客の受け入れ環境の整備やおもてなしの充実が求められます。

課題② 若い世代の流出防止

若い世代の流出を防止し、定住人口を拡大するために、遊休農地を活用した住宅整備や新たな雇用創出や、女性が子育てと仕事を両立できるようにするための子育て支援の充実などが課題となっています。温かい人柄や地域の結びつきなどが師崎の魅力であるものの、一方で地域活動の担い手不足や高齢化が進み、若い世代の地域との関わりが希薄になっています。子どもや子育て世代などが、地域の主役として関わられるような活躍の場や組織づくりを進めることが求められています。地域の産業の活力低下とともに、若者の雇用の場も不足がちです。

課題③ 住環境の整備

子どもから学生、高齢者まで、交通弱者も安全・快適に移動できるように、海っ子バスの充実や歩道整備、街路灯整備が求められています。また、上記の雇用創出とともに、アパートの誘致や空き家活用などにより、若い世代の住まいの受皿を用意することで、定住促進を図ることが課題となっています。大雨や台風による高潮、地震による津波の被害も懸念されることから、防波堤や避難場所、避難路の整備など、住民の命を守るための様々な災害対策が喫緊の課題となっています。

まちづくりの目標

目標 1

地場産業の
元気なまち

観光センターを中心とした新たな観光資源や散策路、レンタサイクルの整備などにより、観光客が師崎の魅力を楽しめるような環境を整備します。また、漁業や水産加工業などの地場産業の活力を高めて、産業の元気なまちをめざします。



目標 2

若い世代が
活躍できる
まち

若い世代が仕事をしながら安心して子育てができるように、保育所や子どもの居場所を整備するとともに、子どもからや若者、女性を含む子育て世代なども地域づくりの担い手として活躍できる仕組みづくりを行います。また、地場産業の振興や遊休農地等の未利用地の活用による新たな雇用の創出を行うことで、若い世代が活躍できるまちをめざします。

目標 3

すべての
世代が
暮らしやすい
まち

安全かつ利便性の高い公共交通や道路の整備を進めるとともに、若い世代の住まいの確保、公園づくり、さらに高潮や津波などの災害対策を充実して、安心して暮らせるような住環境を整備して、すべての世代が暮らしやすいまちをめざします。



1 地場産業の元気なまち

観光

- 観光センターや朝市を核とした「海の駅」構想**
(師崎港周辺の観光情報機能の充実、バリアフリーの促進、景観整備)
 - 海上交通の利用者などでにぎわう師崎港の観光センターの建て替えによる、観光案内や情報発信、土産物などの物販機能等の強化、利便性向上
 - 観光センター及び朝市周辺をイベントゾーンとして整備し一体的な集客力の向上
- 散策コースの整備 (水辺空間などを活用した散策ルートの整備)**
 - 師崎周辺地域の歴史や、海岸・河川などの水辺、美しい景観などの魅力を感じてもらえるように、名所を楽しく効率的に散策できるようなモデルコースの整備
 - インパクトがあり、地域の人たちが愛着の持てるように、子どもがタイルを張ったり、防波堤に絵を描いたり、道端に花を植えたりするなど手づくりで散策コースを整備
- 古いまち並みを生かした観光振興**
 - のんびりと散策や買い物を楽しんでもらえるように、路地や黒板塀の家屋など漁師町の風情を残したまち並みを観光資源として活用
- レンタサイクルの導入**
 - 観光センター及び朝市会場へのレンタサイクルの拠点整備、まち並みや寺社、公園、師崎港、展望台、羽豆岬を巡ってもらうためのサイクリングロードの整備
- 四季を通じて楽しめる磯場づくり**
 - 四季を通じて家族連れなどが磯遊びを楽しめるように、展望台南西の海岸に磯場の整備
- 新たな人工ビーチの整備** ・師崎の新たな観光資源として、羽豆岬交差点から西側に人工砂浜の整備
- 観光客向け駐車場の整備**
 - 観光客が徒歩や自転車で師崎地区内を移動してもらえるように、中心部から少し離れた幹線道路沿いの山ノ神や板取周辺に、観光案内の機能を備えた観光客向けの新たな駐車場の整備
- 公衆トイレの整備** ・観光客が気持ちよく利用できる公衆トイレの整備と清掃活動の実施
- 羽豆岬の保全・活用** ・美化活動による羽豆岬の美しい景観の保全
 - 羽豆神社前の階段の整備を行うなど、観光名所として訪れやすい環境づくり
- 宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備**
 - 賑わいの創出に向けて、新師崎に立地する既存の店舗や宿泊施設等の充実
- 師崎の知名度向上にむけたPR強化**
 - 伝統の祭りをはじめとした地域の様々な魅力をWEBやリーフレット、案内看板等を通じて外部に積極的に情報発信し、師崎の知名度向上・イメージアップ
- 特産品開発による地域ブランド化** ・師崎の新たな特産品開発による地域ブランド化
- 観光案内ボランティアの実施**
 - 師崎の歴史など様々な魅力を、案内ボランティアなどにより直接伝えていく仕組みの構築
 - 住民が観光客に、師崎の歴史や文化を自分の言葉で伝えられるよう、住民のおもてなしの心づくり
- 観光の話題づくり**
 - 師崎地区から都市部の空に向けてレーザーを放つなど、師崎が目立つ話題づくり
 - 知多娘のように、師崎のゆるキャラ・ご当地キャラ、ご当地アイドルをつくり、PRやお土産などに活用

漁業

- 水産加工業や漁業関連施設、倉庫等の集積及び老朽化対策**

2 若い世代が活躍できるまち

子育て支援

- 保育所の整備**
 - 仕事と子育ての両立を支援できるように、津波などの心配のない安全な場所での保育所の整備
- 世代間交流を通じた子どもの居場所づくり**
 - 小学校の余裕教室などを活用し、放課後に子どもたちが集い高齢者と触れ合える居場所の整備

コミュニティ振興

- 地域における若者の活躍の場や組織づくり**
 - 小中学生や子育て世代など、次代を担う若い世代が地域の行事や散策コースの整備など、様々な活動・まちづくりに主体的に関わることができるような、若者が主役の組織づくりや活躍の舞台づくり

土地利用

- 新たな都市的土地利用の検討**
 - 富士見ヶ丘付近の遊休農地を有効活用して、新たな工場や高齢者の健康・福祉施設の誘致、クラインガルテンの整備など、師崎の振興に資する新たな都市的土地利用の検討

雇用創出

- 観光を中心とした若者の新たな雇用創出**
 - 観光を中心とした関連産業の振興、遊休農地における新たな事業の誘致など、若者が働き続けられる雇用創出

3 すべての世代が暮らしやすいまち

公共交通

- 海っ子バスの充実** ・運行本数やダイヤの見直しなどによる利便性の向上

道路

- 歩道及び街路灯の整備による安全な道づくり**
 - 歩道と車道の分離、通学や高齢者の移動に使われる生活道路への街路灯を設置など、安全・安心な移動環境の整備と、あわせて車の移動にも快適な道路の整備
- 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化) / 有料道路の無料化**

住宅

- 集合住宅の誘致**
 - 若い世代向けに民間アパートなどの集合住宅の整備の誘致・促進
- 地域の空き家情報の収集と発信**
 - 地域の空き家情報を集め、不動産会社などに情報提供
- 空き家の有効活用**
 - 空き家を利活用して、Uターンや新たな移住を希望する人に安く貸し出すなど、若者の定住のための住む場所の確保
- 町営住宅の整備**
 - 若い世代向けに町営住宅の集合住宅の整備の誘致・促進
- 新師崎地区の住環境整備**
 - 比較的若い世代が多い新師崎地区において、側溝などの住環境の改善を行うとともに、他地域と一体となった地域づくり活動の推進

公園

- 防災公園の整備**
 - 災害時には避難場所としても活用することを想定したうえで、子どもの遊び場や高齢者のたまり場などみんなの憩いと交流の場として、桜の植樹なども行った公園の整備

施設

- 図書館の充実**
 - 他の図書館と連携し、子どもを中心に気軽に本に親しむことができるような図書館の充実
 - 観光案内所も兼ねて、師崎地区の歴史・文化や著名人、特徴や自慢など、師崎地区のことをよく知ることができるような、ふらっと立ち寄れる場所として整備

防災

- 津波一次避難場所及び避難路の整備**
 - 高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の幅や舗装の整備、草刈り等の強化
 - 身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備
 - 避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底
- 護岸の整備**
 - 高潮・津波対策として、散策路としても利用できる護岸を整備、観光資源としても活用

師崎地区振興基本計画図

将来像

海と歴史に育まれ

若い世代も安心して暮らせるまち

まちづくり目標

目標1 地場産業の元気なまち

目標2 若い世代が活躍できるまち

目標3 すべての世代が暮らしやすいまち

主要地方道
半田南知多公園線の整備(四車線化)

新師崎地区の住環境整備
宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備

津波一次避難場所及び避難路の整備

保育所の整備
世代間交流を通じた
子どもの居場所づくり



観光客向け駐車場の整備

水産加工業や漁具庫等の
漁業関連施設、倉庫等の
集積及び老朽化対策



観光センターや朝市を
核とした「海の駅」構想
(師崎港周辺の観光情報機能の
充実、バリアフリーの促進、景観整備)
レンタサイクルの導入

図書館の充実

師崎港

師崎港観光センター

羽豆岬

新たな都市的土地利用の検討

集合住宅の誘致

新たな人工ビーチの整備

観光客向け駐車場の整備

防災公園の整備



散策コースの整備
(水辺空間などを活用した
散策ルートの整備)

四季を通じて楽しめる磯場づくり

羽豆岬の保全・活用

地図に表示できない事業

- 古いまち並みを生かした観光振興
- 公衆トイレの整備
- 師崎の知名度向上に向けたPR強化
- 特産品開発による地域ブランド化
- 観光案内ボランティアの実施
- 観光の話題づくり
- 地域における若者の活躍の場や組織づくり
- 観光を中心とした若者の新たな雇用創出
- 海っ子バスの充実
- 歩道及び街路灯の整備による安全な道づくり
- 有料道路の無料化
- 地域の空き家情報の収集と発信
- 空き家の有効活用
- 町営住宅の整備
- 護岸の整備

凡例

市街化区域	
目標1 地場産業の元気なまち	
目標2 若い世代が活躍できるまち	
目標3 すべての世代が暮らしやすいまち	
道路: 未整備	
道路: 整備済	
津波一次避難場所	